

お蔭さまで3周年 ～三つ葉のクローバー～

2020年(令和2年) 7月26日
理事長 小竹直隆



お蔭さまで、一般財団法人設立3周年を迎えました。これまでにご支援やお力添えを戴きました多くの会員、市民及び関係者のみなさまに心より篤く御礼申し上げます。

機関誌第8-1号掲載の「三つ葉のクローバー」は、当会の事業と運動に関わる全てのみなさまに送る言葉でございます。

その花言葉は、「夢・希望(DREAM・HOPE)、愛(LOVE)、信頼(TRUST)」です。

三つ葉の中に、会員や寄附者等の実名がぎっしりと入っており、厳格に管理されております。本来であれば、祝賀会などを催し、お一人ひとりの皆様と握手をし合い称え合い感謝を申し上げ、未来に向けても、語り合いたいと存じます。

2004年江戸城再建を目指す会(後のNPO法人江戸城再建を目指す会)を創立してから、早15年となります。財団設立から3年を経た今、これまでの運動を振り返り、紆余曲折、波乱万丈あり、語るに及ばず、しかし「人間万事塞翁が馬」であり、漸くここまで参りました。そのおりに、良き方々のご縁に出逢い、お力添えを賜りました結果として現在に至り、当会が存在していることに対して、誠に感謝の念を深く抱き、誠に感慨深いものがございます。

さて、本年の調査研究委員会は、各専門分野において、現在、将来をも期待され第一線でご活躍されておられる研究者により活動を進めております。お蔭さまで、本年10月18日シンポジウム&パネルディスカッションの開催をさせて戴くことになりました。これは、調査研究の成果を広く社会一般に、速やかにご報告させて頂くと共に、行政や関係機関に報告や提言を行う一環の取り組みでございます。[当会ホームページTOP](#)もしくは「[会の活動](#)」から[ご案内チラシ](#)をご覧ください。

同時に、「2020年今日的意義の検証」の策定も進めておりますので、[当会ホームページ「情報公開」](#)→[「事業計画書等及び事業報告書等」](#)にて合わせてご覧ください。

現在、世界的なパンデミックは、私達の生活や仕事を一変させつつあり、テレワークやオンライン等のデジタルテクノロジー化の波は、今後も加速されていくのではないかと存じます。

今日に至るまで人類は、私達は、地球を移動し、触れあい感動し合う、ことで文明を開発し文化は発展・成熟化の道を歩んで来ました。しかし、それらの本質的な課題が閉ざされつつある今、私達は、大きな転換を迫れており、これらは単なる、デジタル技術の対策に止まるものではないと存じます。

即ち、江戸城全体整備構想の目的と使命、理念、ビジョン、今日的意義、運動の進め方、業務のフローなどについて、改めて、じっくりと検証しつつ、急ぎ取り組む必要があると考えます。

この度、其の一環として新たに「江戸東京歴史文化ルネッサンス・プラットフォーム」の創設に向けて検討を進めております。3周年記念行事として、みなさまとご一緒に、できるところから、間断なく漸進して参ります。どうかご指導、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。